

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらいまりステップ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1時間集中のプログラムを組んでおり、目的を持って利用していただける。	・1時間の中でも15分の集中を繰り返すなど、子どもが飽きない工夫を行い、さらに定着を図れるよう、1か月通して同じメニューに取り組むなどの活動を取り入れている。	・1年で見通しを持ちながら、さらに細かい工夫をしていき、集中時間を延ばす、知識の定着につなげる、活動に合わせて時間を調整するなど、臨機応変に取り組んでいきたい。
2	・コグトレ、ビジョントレーニングなどのプログラムに取り組んでいる。	・コグトレのプリントに取り組んだり、ビジョントレーニングにつながる遊びとして3分間チャレンジを行う。	・教材研究を職員間で行いながら、今のお子様に必要な力を身に付けていけるよう、常に内容をブラッシュアップしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後等デイサービスとして1年目なので、職員が小学生との関わりが少ない。	・今まで、児童発達支援しか行っていなかった。	・職員が克服プログラムをしっかりと検討していき、訪問支援員から小学校の様子なども情報共有してもらいながら内容をブラッシュアップしていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぶらいまりステップ

公表日 令和8年3月 18 日

利用児童数 令和8年2月28日

回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	100	0	0	0		
	2	90	0	0	10		
	3	90	10	0	0		
	4	100	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	80	10	0	10		
	6	90	10	0	0		
	7	90	10	0	0		
	8	80	10	0	10		
	9	90	0	0	10		
	10	100	0	0	0		
	11	50	0	40	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	100	0	0	0		
	13	100	0	0	0		
	14	40	10	10	40		
	15	100	0	0	0		
	16	100	0	0	0		
	17	90	10	0	0		
	18	20	0	40	40		
	19	80	0	0	20		

・アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。放課後等デイサービスに関しては保護者様からのご意見は表記がありませんでした。結果を踏まえて対応策を考えていきたいです。

・ぶらいまりステップの放課後等デイサービスに関しては、小学校における通級クラスをイメージしています。学習支援ではなく、学習に向かう土台作りを目的としています。支援級に置き換えると自立活動の部分を行いながら、課題の中に試行錯誤する経験を取り入れたり、SSTの要素を含んだ話し合いを行ったりして取り組んでいます。机上の課題だけではなく、活動の中にも思考する課題を取り入れるようにすること、短い集中を繰り返す1時間とすることなど、お子様が飽きずに集中するプログラムの工夫をしています。

・自発的に人と関わる力、自発的に発言する力、自発的に創意工夫をしていける力を育てていけるよう、プログラムを組んでいます。

・安全面に関しては児童発達支援と同様、訓練などは行っていますが、保護者様への発信などには至っておりませんでした。

・放課後児童クラブなどとの交流は現状難しい状況ですが、今後どのように工夫すれば実現できるかを検討してまいります。

・今後もお子様安心して利用いただけるよう、プログラムにも工夫を凝らすすめてまいります。

保護者様にも納得してご利用いただけるよう、真摯に活動に取り組んでまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	20	0	10	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	80	0	0	20	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	70	20	0	10	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	60	10	0	30	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80	0	0	20	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90	0	0	10	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90	10	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	80	0	10	10	
	29	事業所の支援に満足していますか。	90	10	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぶらいまりステップ					公表日	令和8年3月 18 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43	57			・第三者による外部評価は行っていないが、相談支援専門員などの意見を聞き、取り入れるようにしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86	14		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	86	14		・対象者がいないが、必要があれば情報提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	72	28		・センターがない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	42	58		・現状、交流する時間をとることは難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0		・参加できる全大会には積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0		・プログラムはないが、個々に情報提供などは行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	29	71		・父母の会はない。きょうだい児の交流などは基幹的に難しい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29	71		・地域のスーパーに買い物に行くなどはしており、事業所の存在は知っていただいている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86	14		・児童発達支援と同じように行っているが職員の意識は高めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86	14		同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	86	14		・現在、そのような状況の利用者はいない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	72	28		同上
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86	14		・児童発達支援と同じように行っているが職員の意識は高めていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86	14		・職員研修は行っているが周知されていないのであれば周知していくように、改善していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86	14		同上	